

I 調査結果の概要

1 家族経営体

(1) 平成30年の家族経営体（全国平均）の1経営体当たり林業粗収益は378万円となった。

一方、林業経営費は274万2千円となった。

この結果、林業所得は103万8千円となった。

(2) 林業経営費に占める主要費目の構成割合は、請負わせ料金が38.8%と最も高く、次いで器具・機械修繕費17.0%、雇用労賃11.2%の順となっている。

図1 家族経営体の林業経営費の構成割合

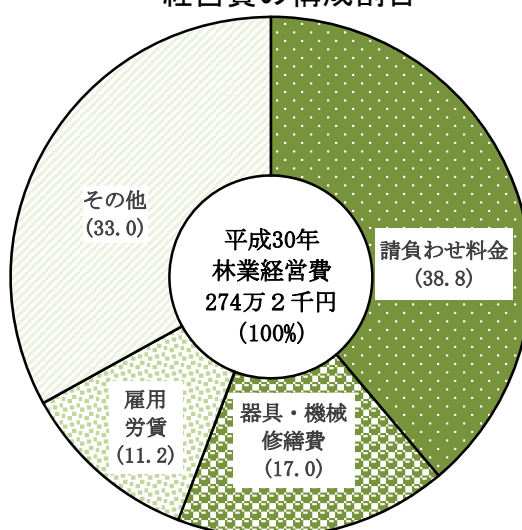


表1 家族経営体（全国）（1経営体当たり）の経営収支等

区分	単位	平成30年	構成割合
保有山林面積	a	6,435	—
林業粗収益	千円	3,780	100.0
素材生産	〃	2,144	56.7
立木販売	〃	207	5.5
その他	〃	1,429	37.8
うち造林補助金	〃	648	17.1
林業経営費	千円	2,742	100.0
うち請負わせ料金	〃	1,065	38.8
器具・機械修繕費	〃	465	17.0
雇用労賃	〃	306	11.2
林業所得	千円	1,038	—

2 会社経営体

(1) 平成30年度の会社経営体（全国平均）1経営体当たり林業事業売上高は1億2,113万円となった。

一方、林業事業営業費用は1億2,750万2千円となった。

この結果、林業事業営業利益はマイナス637万2千円となった。

(2) 林業事業営業費用に占める主要費目の構成割合は、賃金が26.2%と最も高く、次いで原木購入費11.4%、減価償却費10.3%の順となっている。

図2 会社経営体の林業事業
営業費用の構成割合

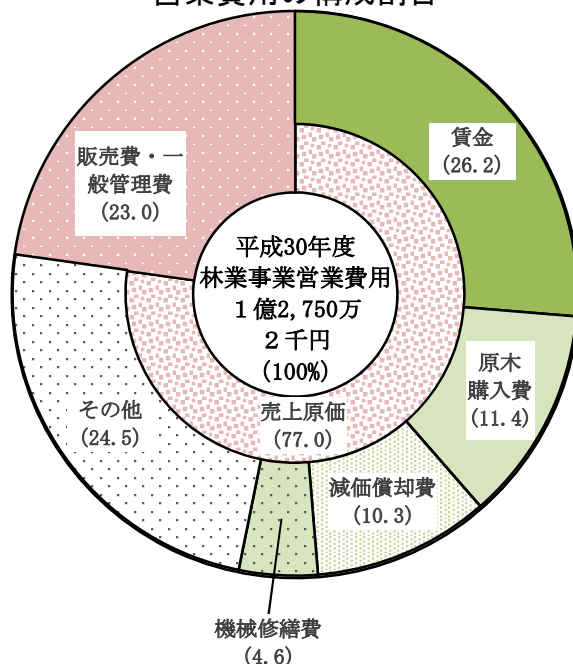


表2 会社経営体（全国）（1経営体当たり）の経営収支等

区 分	単位	平成30年度	構成割合
請負面積（植林及び保育）	a	5,073	—
素材生産量	m ³	10,858	—
林業事業営業利益	千円	△ 6,372	—
林業事業売上高	千円	121,130	100.0
保有山林収入	〃	856	0.7
請負収入	〃	79,826	65.9
立木買い素材生産収入	〃	40,448	33.4
林業事業営業費用（①+②）	千円	127,502	100.0
売上原価①	〃	98,133	77.0
うち賃金	〃	33,345	26.2
原木購入費	〃	14,523	11.4
減価償却費	〃	13,127	10.3
機械修繕費	〃	5,879	4.6
販売費・一般管理費②	〃	29,369	23.0
林業事業外営業利益	千円	9,071	—
営業利益	〃	2,699	—
営業外収益	〃	5,497	—
営業外費用	〃	1,169	—
経常利益	〃	7,027	—